

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	勝谷紀子	所属	北陸学院大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会 難聴者の心理学的問題を考える会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 8 名 (うち認定心理士 2 名) 非会員 4 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、「聞こえや聞き取りに困難があるにもかかわらず、難聴に対する理解や配慮が十分でないことから生じる心理学的問題を考えること」を目的としている。研究会メンバーは、障害児教育、知覚心理学、認知心理学、臨床心理学、発達心理学、社会心理学、認知心理学などさまざまな領域で難聴の研究をしている研究者、当事者が主な研究会のメンバーとなっている。</p> <p>2019年度は、9月に立命館大学で開催された日本心理学会第83回大会にて、「難聴者・聴覚障害者への合理的配慮を考える」と題した公募シンポジウムをおこなった。シンポジウムでは、難聴者・聴覚障害者への配慮や支援をめぐる最近の問題を幅広く話題提供した。話題提供者は、佐野智子 (城西国際大学)、森田恵子 (大東文化大学)、谷口学 (難聴者サークル木かげ)、麻野美和 (きこいろ 片耳難聴サポート)、指定討論者は冷水來生 (京都教育大学名誉教授)、古賀恵里子 (大阪経済大学) (敬称略)であった。多様な難聴者・聴覚障害者に関わる多様な話題提供を行い、多様な難聴者・聴覚障害者に対して今後どのような支援や配慮が求められるかを考えた。来場者へのアンケートからもシンポジウムの内容について貴重な意見をいただいた。</p> <p>次年度は、難聴者への心理的な支援のあり方についてひきつづき検討したいと考えている。具体的には、引き続き日本心理学会での公簿シンポジウムの形式で、難聴者が望む支援を受けるために必要なコミュニケーションのあり方を意見交換していきたいと考えている。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
難聴者の心理学的問題を考える会				
研究集会開催日： 2019年 9月12日(木)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	勝谷紀子	北陸学院大学	○	○
2	佐野智子	城西国際大学	○	
3	冷水啓子	桃山学院大学	○	
4	森田恵子	大東文化大学		
5	谷口学	難聴者サークル木かげ		
6	麻野美和	きこいろ 片耳難聴サポート		
7	冷水來生	京都教育大学名誉教授	○	
8	古賀恵里子	大阪経済大学	○	
9	加藤宏	筑波技術大学	○	
10	安田孝	松山東雲女子大学	○	
11	佐藤胡桃	文教大学		
12	大島裕子	放送大学大学院	○	
13	※シンポジウムでの来場者アンケートにもとづく			
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

2020年3月30日

日本心理学会研究会

2019年度会計報告書

研究会名称 難聴者の心理学的問題を考える会研究会番号 19027助成金額 ¥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2019年9月12日	講師交通費(谷口学氏分)	¥700
2019年9月11日	講師交通費(齋藤(旧姓麻野)美和氏分)	¥2,760
2019年9月11日	講師交通費(齋藤(旧姓麻野)美和氏分)	¥1,300
2019年9月11日	講師交通費(齋藤(旧姓麻野)美和氏分)	¥6,944
2019年9月14日	講師交通費(齋藤(旧姓麻野)美和氏分)	¥12,722
2019年9月11日	講師交通費(齋藤(旧姓麻野)美和氏分)	¥3,900
2019年9月12日	講師(非会員登壇者齋藤(旧姓麻野)美和氏)謝礼(登壇の謝礼として参加費用をお支払いさせていただきました)	¥17,000
2019年9月12日	講師(非会員登壇者谷口学氏)謝礼(登壇の謝礼として参加費用をお支払いさせていただきました)	¥17,000
2020年3月30日	郵送費(報告書を郵送するため)	¥410
	支出合計	¥62,736

研究会にかかったすべての経費を上の通り報告いたします。よろしく願いいたします。